

授業科目	基礎実習				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	選択	開講年次	1	開講時期	通年				
担当教員	荒木 剛										
授業概要	<p>福祉サービスの実践現場において、実務者（職員）の指導のもと、体験実習を 100 時間以上行う。また、学内においては、実務家教員の指導のもと、実習前の準備学習、実習中のスーパービジョン、実習後の振り返りと報告会を行う。</p> <p>実習先の例）介護老人福祉施設、認知症グループホーム、児童館、学童保育、障害者支援施設、保育所など。</p>										
授業形態	実習			授業方法							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>1. 実習生としての心構え・マナーについて理解し、実践できる。（DP4-1）</p> <p>2. 実習に向けた諸手続きについて理解し、実行できる。（DP4-1）</p> <p>3. 利用者との関係形成の方法について理解し、実践できる。（DP3-1、DP4-3、DP5-1）</p> <p>4. 実習施設での具体的な支援について理解し、実践できる。（DP3-1、DP4-3、DP5-1）</p>										
理想的レベル	利用者個々のニーズを理解し、具体的な支援内容・方法を検討・実践できる。また、実習体験を踏まえて今後の学習や実習に向けた課題を整理できる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験											
小テスト											
レポート	20%										
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%										
レポート外の提出物	10%										
その他	60%										
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE11102J
学習課題（予習・復習）										1 回の学習目安（時間）	
授業内容に関する事前の調べ学習、事後の振り返り、まとめなどを行う。										1	
授業計画											
第 1 回	【オリエンテーション】 科目の概要、授業スケジュール、履修上の注意点について学ぶ。（担当：全教員）										

第2回	【対人援助の仕事】 ビデオを視聴し、対人援助の仕事のイメージを具体化する。(担当：全教員)
第3回	【対人援助の仕事】 前回の感想を共有し、対人援助の仕事の意義について学ぶ。(担当：全教員)
第4回	【実習までの手続き】 実習開始に向けた具体的手続きや提出書類等について学ぶ。(担当：全教員)
第5回	【実習中のリスクマネジメント】 実習中に起こりえる事故やトラブル等への対応方法について学ぶ。(担当：全教員)
第6回	【実習前の最終オリエンテーション】 実習先との日程調整の仕方、実習上の注意点等について学ぶ。(担当：全教員)
第7回	【実習の中間振り返り】 これまでの各自の実習体験を振り返り、学びや課題の整理を行う。(担当：全教員)
第8回	【後期オリエンテーション】 後期の授業スケジュール、実習振り返りシートの作成について説明する。(担当：全教員) ※後期の授業内容・スケジュール等は実習の進捗状況で変更となる場合があります。
第9回	【実習の振り返り】 各自の実習体験の振り返りと共有を行う。(担当：全教員)
第10回	【実習報告会の準備】 実習報告会について説明を行う。(担当：全教員)
第11回	【実習報告会】 各グループの実習体験について報告を行う。(担当：全教員)
第12回	※上記以外にも個別またはグループでの指導を行います。
第13回	学外実習
第14回	学外実習
第15回	学外実習
第16回	学外実習
第17回	学外実習
第18回	学外実習
第19回	学外実習
第20回	学外実習

第21回	学外実習
第22回	学外実習
第23回	学外実習
第24回	学外実習
第25回	学外実習
第26回	学外実習
第27回	学外実習
第28回	学外実習
第29回	学外実習
第30回	学外実習
テキスト	資料・プリントを配布する。
参考図書・教材/データベース・雑誌等の紹介	参考図書『最新・社会福祉士養成講座 ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習』中央法規
課題に対するフィードバックの方法	実習レポートや実習日誌等の提出物は、成績発表後にコメントを付けて返却します。
学生へのメッセージ	基本的なコミュニケーション力や他者との関係形成力が不可欠です。また、実習生としての心構えやマナーを十分に理解し、実践することが求められます。

